

放送部

更新日：令和3年3月4日

活動時間

主に行事があるとき

活動場所

放送室，行事がある場所

活動コメント

私たち**放送部**は、現在2年生1人で活動しています。
主に、文化祭，体育祭などの学校行事では、**放送機材の設営**
やアナウンス，司会進行を担当しています。放送する時，正確に原稿を読むことはもちろんのこと，臨機応変な対応が求められることもありますが，少しずつ技術を磨いて，安心して聴いていただけることを目標に，頑張っています。
毎日活動があるわけではないので，**勉強に集中したい！兼部をしたい！自分の時間を確保したい！**という人には，**ピットリな部活**です！
アナウンスに興味のある方は，ぜひ一緒に活動しましょう★

活動の様子

竹原港～大久野島を
結ぶ小型船内の
アナウンスを
担当しました！



「安全に観光楽しんで」
放送は出発時と到着時で異なり、それぞれ1〜2分ほど。「船が波で揺れる場合があり、席をお立ちにならないようお願いいたします」などと船内の安全確保を呼び掛けるほか、「ウサギと触り合いたいよ」十分注意を」と、島の過ごし方にも触れる。（山田祐）

同航路は航路事業会社「カー・サフライ」広島市南区が昨年12月、定期便として運航を始めた。平日に6往復、土、日曜と祝日に7、8往復していたが、新型コロナウイルスの感染拡大で一時的に休航。現在は予約客を対象に運航している。今後は感染状況などをみて定期便を再開する。

船内放送はスタッフが読み上げたものを使ってきたが、同社の地域連携の一環として6月中旬に同校へ協力を依頼した。

放送部の3人が日本語を担当し、英語部の2人が英語で読み上げた。英語版の原稿は、英語部の2人が表現の手直しをした。全体練習を経て同高の放送室で吹き込んだ音源を、CDに収めて同校に9日、提供した。

放送部の3年長尾澤菜部長は「訪れた人に地元を安全に楽しんでもらえるよう意識した。フィリピン出身で英語部の1年シャーナ・アレイ・アラサ部長は「飛行機や電車内の放送を参考に、感情の込め方などを工夫した。海外の人にも分かりやすく伝えたいと思う」と話している。